



S series Classic Console Mix Equalizer

クラシック・コンソール・イコライザー・バンドル

TDM/ネイティブ プラグイン

取扱い説明書

www.ursplugins.com

Copyright

Copyright 2003 Unique Recording Software, Inc.
All trademarks are property of their respective owners.

URS is a trademark of Unique Recording Software, Inc. URS A series and URS N series are copyrighted 2003 by Unique Recording Software, Inc.

Unique Recording Software
701 Seventh Ave
New York, NY 10036
United States
Web site: www.ursplugins.com

Credits

Product Development Team: Robert Nathan
GUI and Programming: Cool Stuff Labs, Inc.
Graphics: Manny Ojeda
Documentation: Mike Freitas

Catalog Number

URSTDMS
URSNATS

目次

第一章：はじめに	5
第二章：インストール、登録、オーソライズ	6
インストール	6
ユーザー登録	6
オーソライズ	7
第三章：URS Sシリーズ イコライザー	8
URS Sシリーズについて	8
周波数、ゲインの調整	9
バイパス	9
位相スイッチ	9
入力レベル調整	9
出力レベル調整	9
ミッドバンドQ調整	10
ロー/ハイパス・フィルター調整	10
ピーキング/シェルビング選択（ロー/ハイバンド）	11
「IN」ボタンについて	11
入出力「プラズマ」メーターについて	11
第四章：使用上注意事項、ヒント	20
フィジカル・コントローラー（ProControl, Control 24, 他）	12
ヒント	12

第一章：はじめに

Unique Recording Software (URS)クラシック・コンソール・イコライザーをご購入いただきましてありがとうございます。このプラグインはプロツールTDM, LE用ミックス・コンソール型イコライザーであり、これまでソフトウェアではなかった音楽的、個性的、で「太い」音を実現しています。

URS S Series EQ

TDM, LE対応のSシリーズは個性的で高品位な音質ゆえにプロの現場で幅広く使われてきた機種のコソール・イコライザーをプロツール高音質デジタル・オーディオの世界で甦らせました。

各プラグインの操作性は開発時からの重要な課題であり、最も使いやすく、覚えやすいように配慮されています。肝心の音質は伝説的とも言われるオリジナル・ハードウェアのものを忠実に再現しています。



URS S Series EQ

TDM, Native バージョン

本製品はプロツールTDM、またはLE用、二種を販売しております。

TDMバンドルはTDM, RTAS, Audiosuite対応。192kHzまで使用可。

NativeバンドルはRTAS, Audiosuite対応。192kHzまで使用可。

全てmono, multi-mono対応。

動作環境：

バージョン1.0：Macintosh OS X, OS 9のみ対応（バージョン・アップ等最新情報はURSウェブサイト参照）

プロツール・ソフトウェア5.2.1以上（TDM, LE）

本製品のオーソライズは全てiLokスマートキー（別売）によるものとなります。もしiLokをお持ちでない場合はデジデザインウェブサイトのiLok情報を参照ください。

TDMシステムのDSP使用：

Pro Tools TDM System:		HD Accel			HD			MIX	PT24
sample rates (kHz):		44.1 / 48	88.2 / 96	186.4 / 192	44.1 / 48	88.2 / 96	186.4 / 192	44.1 / 48	44.1 / 48
Plug-In	URS S 6-band EQ	26	13	6	11	6	3	6	3

第二章：インストール、ユーザ登録、オーソライズ

お手数ですが以下の順番でソフトの準備をしてください。

1. 最初にプラグインをインストールしてください。
2. 次にUnique Recording Softwareでユーザ登録を行ってください。
3. 最後にユーザ登録の際に発生したオーソライズ・コードを用いてプラグインをオーソライズして
 ください。

詳細は下記を参照してください。

インストール：

1. まずURSのホームページ(www.urlplugins.com)よりインストーラーをダウンロードするか
 ClassicConsole EQインストーラ・ディスクをCD-ROMドライブに挿入してください。インス
 トローラはTDM又はNative、さらに各OSごとに用意されていますので使用システムに合ったもの
 を使用してください。
2. ご購入されたURSプラグインまたはバンドルのインストーラーをダブルクリックしてください。
 TDMユーザはTDMインストーラーを、LEユーザはNativeインストーラーを使用します。
3. インストーラーが起動しましたら画面の指示に従ってプラグインをインストールしてください。
 終了しましたらインストーラ・ディスクを取り出してください。

オーソライズをするためにはユーザ登録が必要です。またユーザ登録をすることによってソフトの
アップデートを行う事が可能になります。

ユーザ登録：

ユーザ登録はURSのホームページにて行ってください。

1. www.ursplugins.comにアクセスし"Register"のリンクをクリックしてください。
2. ユーザ登録フォームにEメール・アドレスを含めた必要事項を入力してください。この際、伝票
 番号 ("Invoice Number"、URS直販ネット・ストア購入の場合) 又は販売店のディーラー番号
 ("Dealer License Number"、URS直販以外の販売店購入の場合)を忘れずに記してください
・ URS直販ネット・ストアでの購入の場合Invoice Numberと購入日を記入してください。
・ それ以外の購入は販売店名、販売店番号（販売店番号は製品と同梱されているURS製品登録
 カードに表示されています。）を記入してください。
3. ユーザ登録の終了後、ご登録いただいたメールアドレス宛にユーザ名、パスワード（後で変更
 可能）を含む登録確認メールが送信されます。
4. 確認メールを受信されましたら再度URSホームページにアクセスし、ユーザ名、パスワードを
 使ってログインしてください。
5. 画面の指示に従いパスワードを変更してください。新しいパスワードを作りましたらURS
 Welcome Pageに自動的に移ります。
6. Welcome Pageの"Download"リンクをクリックすると最新バージョンのURSプラグイン、iLok
 ドライバソフト、取扱説明書、デモソフトのダウンロード・ページに移ります。
 必要であればここで最新バージョンのプラグイン・インストーラ、ドライバー等をダウンロード
 してください。

オーソライズ：

ユーザ登録を完了しましたらilok.comにて手持ちのiLokスマート・キーにURSのassets（認証許可ライセンス）を転送してください。（URSはユーザ登録を確認後、assetsをお客様のilok.comアカウントに転送いたします）

オーソライズの流れ：

1. URSのホームページにてユーザ登録をすることによりilok assets（認証許可ライセンス）が発~~生~~
 生じます。
2. iLok.comにてURSのassetsをお客様のilokに転送します。
3. iLokを挿入することによりインストールしたプラグインを使用可能にします。

始める前に：

1. まだユーザ登録を完了していない場合は登録を行ってください（前項参照）。URSはユーザ登録~~を~~
 を確認後、Assets（認証許可ライセンス）をお客様のilok.comアカウントに転送いたします
2. iLokをインターネットに接続しているコンピューターのUSBポートに挿入してください。（プロ~~ツ~~
 ツールを使用するコンピューターである必要はありません）

Assets（認証許可ライセンス）を転送します：

1. www.ilok.comにアクセスしてください。
2. ログインしてください。まだilokユーザ・アカウントをお持ちでない方は新規登録してください~~を~~
 （Protocols Plug-in Guideにilokについてより詳しい情報が載っています）。
3. 画面の指示に従いClassic Console EQ AssetsをiLokに転送してください。

プラグインのオーソライズ：

1. プラグインのインストール、ユーザ登録、iLokへのAssetsの転送を全て完了したことを確認~~す~~
 ださい。
2. プロツールを起動してください。
3. 画面に指示が出ますのでiLokをUSBポートに挿入してください。（プロツール起動前に挿入して~~も~~
 も問題はありません）画面の指示に従いオーソライズを完了してください。

カスタマーサポート

サポートは下記のメールにてお願い致します。

support@ursplugins.com

メールの本文にURSネット・ストアの伝票番号またはURSライセンス番号、とお客様の電話番号をご記入ください。

プラグインの最新バージョン、マニュアルや他の関連ソフトはURSホームページwww.ursplugins.comのユーザページからダウンロードいただけます。

第三章：URS S Series EQ

プラグインを使用するにはトラックのインサートに立ち上げ必要パラメータを調整してください。URS S Series EQは192khzまで全てのサンプルレートに対応、またモノ/ステレオのAudio Tracks, Aux Inputs, Master Fadersに使用することができます。

URSプラグインのインサート（挿入）：

1. Audio Track, Aux Input, Master Faderを作ります。
 2. トラックのインサートのリストからURS S Series EQを選択します。
 3. パラメータを調整します（詳細は下記参照）。
- Audiosuite使用の際はプロセスしたい部分を選択し、パラメータを調節後プロセスをします。Audiosuiteの使用法はプロツールマニュアルを参照ください。

URS S Seriesについて。

URS S Seriesは大型コンソールのミックス・サウンドを提供します。4バンドのEQはお互いにオーバーラップし積極的な音作りから繊細な調整が可能。またロー/ハイの2バンドはピーキング/シェルビング変換可能でタイトなロー、滑らかなハイを実現。入出力トリムと入出力メーターの完備で細かいゲイン管理も可能。さらに数値ディスプレイの充実で全てのパラメーター、ゲイン、周波数値、Q、入出力レベルを瞬時に把握できます。



URS S Series EQ

URS A Series詳細

- 4バンドのフル・パラメトリック・イコライザー
- ローパス、ハイパス・フィルター
- 各バンド15dBのブースト/カット
- ロー/ハイ・バンド：ピーキング/シェルビング選択可能（ゲイン、周波数値可変可）
- ロー・ミッド/ミッド・ハイ：ピーキング（ゲイン、周波数値、Q値可変可）
- 入出力レベル・トリム：-12db~+4 db
- 入出力ピーク・メーター（オーバー・ライト付き）
- 数値ディスプレイに直接数値入力可能

プリセット周波数値

- ロー：30Hz - 450Hz
- ローミッド：200Hz - 7.5kHz
- ミッドハイ：200Hz - 7.5kHz
- ハイ：1.5kHz - 18kHz
- ローパス・フィルター：3kHz - 12kHz
- ハイパス・フィルター：20Hz - 350kHz

周波数の調整

任意の「Freq」ツマミをクリック／ドラッグします。数値ディスプレイをクリックするとキーボードから数値の入力、または上下矢印キーで周波数値を調整できます。例えば"750"と入力してリターンを押すと750Hz、"7500"または"7.5k"と入力してリターンを押すと7.5kHzに設定されます。



数値ディスプレイをクリックして周波数値を設定

ゲインの調整

任意のゲインツマミをクリック／ドラッグします。数値ディスプレイをクリックするとキーボードから数値の入力、または上下矢印キーでゲインを調整できます。



ゲインの調整

バイパス

プラグインをバイパスの状態にするには「IN」ボタンをクリックします。作動中には「IN」下の赤ランプが点灯します。バイパス時には赤ランプは消えプラグイン・ウィンドウのバイパススイッチが白く点灯します。



バイパス時

位相反転

位相を反転するには「Ø」ボタンをクリックします。

入力レベル調整

- ・ ☑ 「INPUT」部のツマミをクリック／ドラッグ。
- ・ ☑ 入力レベルツマミの上の数値ディスプレイをクリックしキーボードの上下矢印キーで調整。
- ・ ☑ 同じく数値ディスプレイをクリックしキーボードから数値を直接入力。

出力レベル調整

- ・ ☑ 「INPUT」部のツマミをクリック／ドラッグ。
- ・ ☑ 入力レベルツマミの上の数値ディスプレイをクリックしキーボードの上下矢印キーで調整。
- ・ ☑ 同じく数値ディスプレイをクリックしキーボードから数値を直接入力。

ミッド・バンドのQ値調整

URS SシリーズはLMFとHMFのQ値を調整できます。調整には「Q」ツマミをクリック／ドラッグします。ツマミを反時計回りに動かすとイコライザーカーブは狭くなります（大きいQ値）。時計回りに動かすとイコライザーカーブは広くなります（小さいQ値）。デフォルトの12時方向は標準的なQ値です。



Q値調整

Q値の調整

- ・ ☒ LMFまたはHMFの「Q」ツマミをクリック／ドラッグする。
- ・ ☒ Qツマミの上の数値ディスプレイをクリックしキーボードの上下矢印キーで調整
- ・ ☒ 同じく数値ディスプレイをクリックしキーボードから数値を直接入力

ローパス／ハイパス・フィルター

URS Sシリーズにはローパス・フィルターとハイパス・フィルターの二種が装備されています。

ローパス・フィルター



カットオフ・フリークエンシー（設定周波数）より低域のみを通過させます。時計回りに「Low Pass」ツマミを回すと高周波数帯域が減衰されます。

ハイパス・フィルター



カットオフ・フリークエンシー（設定周波数）より高域のみを通過させます。時計回りに「High Pass」ツマミを回すと低周波数帯域が減衰されます。



ローパス／ハイパス・フィルターの調整



ローパス／ハイパス・フィルターをバイパスするには各ツマミ下の「Low Pass」または「High Pass」のアイコンをクリックします。

ローパス／ハイパス・フィルターの調整

- ・ ☒ 「Low Pass」または「High Pass」のツマミをクリック／ドラッグする。
- ・ ☒ ツマミ上の数値ディスプレイをクリックしキーボードの上下矢印キーで調整
- ・ ☒ 同じく数値ディスプレイをクリックしキーボードから数値を直接入力

ロー／ハイ・バンドのEQタイプ選択

ロー／ハイともデフォルトではシェルビング・タイプのEQに設定されています。「BEL」をクリックし有効にするとピーキング・タイプに変換し真上のLEDが赤く点灯します。



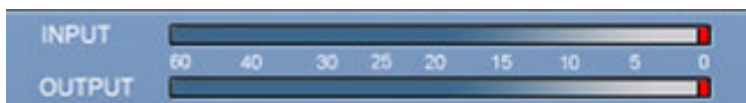
「BEL」スイッチを使いEQタイプをシェルビングかピーキングから選択

各バンドの「IN」スイッチについて

「IN」スイッチを使用することにより各バンドごとに有効／解除の設定が可能です。有効の状態ではスイッチ真下のLEDが赤く点灯します。

入出力「プラズマ」メーターについて

各メーターは入力、出力レベルをプラグイン・ウィンドウから離れることなくすばやく比較できるように上下に配置されています。プロツールではゲイン・ステージが大切でプロセスによってオーバーを出さないことが重要です。さらにメーターには赤色のオーバー・ライトがついてます。



URS Sシリーズ入出力メーター

オーバー・ライトをリセットする

赤く点灯している部分をクリックするとリセットされオーバー・ライトは消えます。

ヒント：optionキーを押さえながらオーバー・ライトをクリックすると入出力とも同時にリセットされます。

第5章 操作上のヒント

この章はURS Sシリーズプラグインを最大限に使いこなすためのフィジカル・コントローラーに関する事項や操作ヒントなどを記載してあります。

ProControl, Control|24, 他フィジカル・コントローラー

URS Classic Console EQはProControl, Control|24, 他社フィジカル・コントローラーなどプロツールに対応したフィジカル・コントローラーに対応しています。例えばProControlの「EQ」スイッチを使って挿入されているイコライザープラグインを表示/操作する機能をURSはサポートしています。

さらにProControlはプラグインのトグル・スイッチをProControlのDSP Edit/AssignセクションのBypass, IN, Øスイッチにアサインします。

下記の表は各パラメーターのコントローラー上の略字を記載しています。フィジカル・コントローラーのロータリーエンコーダー、またはフェーダーを使って任意のパラメーターを調整できます。

URS A10シリーズ フィジカル・コントローラー略字表

Control Surface	URS S Series control
LFf	Low Filter Frequency
LFg	Low Filter Gain
LMf	Low Mid Frequency
LMg	Low Mid Gain
HMf	High Mid Frequency
HMg	High Mid Gain
HFf	High Filter Frequency
HFg	High Filter Frequency

- ・ プロコントロールを使って位相反転をするにはLFfの隣の「BYPASS IN」を押してください。
- ・ ローバンドのEQタイプの選択はLFgの隣の「BYPASS IN」を押してください。
- ・ ハイバンドのEQタイプの選択はHFfの隣の「BYPASS IN」を押してください。
- ・ 他コントローラーの場合は相当するスイッチを使用してください。

ヒント：「Flip Mode」について

ご使用のフィジカル・コントローラーがプラグイン「Flip Mode」対応でしたらClassic Console EQで試してみてもいかがでしょうか。フェーダーの上下による調整の方が扱いやすいと感じる課もしれません。URSグラフィック・イコライザーは特に「Flip Mode」に適していると言えます（特にロータリーエンコーダーがベロシティ対応の場合）。しかしプラグイン「Flip Mode」ではスイッチ等は選択できません。詳細は各コントローラーのマニュアルを参照ください。

他のヒント：

TDMとRTAS

TDMプラグインはTDM使用の他、RTASとしても使用可能です。

URSプラグイン製品は全てTDMとRTAS、どちらでも使用可能です。

ミックス時にURSプラグインをRTASで使用することによって有効TDMリソースをTDM空間系プラグインや他のTDMのみ対応プラグインなどに最大限活用することができます。

反対に録音中はレーテンシーの問題などからTDMで使用する事をお勧めします。

マルチ・モノについて

ステレオ・トラック／マスターフェーダー／サラウンド・マスターフェーダーなどにURSプラグインを使用する際、ひとつのプラグイン・ウィンドウから左右、サラウンドなど全てのチャンネルを同時に調整することができます。

1. 任意のステレオトラック、ステレオまたはサラウンドマスターフェーダーのインサート・ セレクターをクリックします。
2. ポップアップ・ウィンドウの「マルチモノTDM (またはRTAS)プラグイン」のリストを選択し ます。
3. URSプラグインを選択します。

(ステレオ以外のマルチチャンネル・トラックの使用はプロツールHDまたはMIXが必要です。) プラグイン・ウィンドウのマスターリンクを選択することによって全チャンネルのパラメーターを同時調整することができます。(プラグイン・リンク機能についてはプロツールマニュアルを参照ください。)

Unique Recording Software
www.ursplugins.com